

泉佐野
発

日本一の「まちづくり」

自由民主党 泉佐野市会議員団

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす

財政健全化計画



第45回総選挙

8月30日の第45回衆議院議員選挙で私が所属しております自由民

主党が改選前の議席の半数にも届かないというような歴史的大敗を喫し、政権政党、そして結党以来守り抜いてきた第一党の座を民主党に明け渡しました。今回の選挙戦を振り返ってみますと、私のような地方議員でも「何だかんだと言っても自民党でなければだめだ。」という驕りが確かにありました。しかし「今回の風は今までとは違うぞ。」と気付いたときにはすでに手遅れでありました。多くの自民党関係者がそうであったような気がします。政治の世界では、住民の方々からの要望などを実現していくうちに、それが自信にもなるのですが、時には住民の方から見て横柄に映るようなところがあると感ずます。その重なりが今回の大敗につながったのだとも思います。

私は国政選挙のたびに自民党の泉佐野支部を代表して泉佐野市開票区の比例区の開票立会人をさせてもらいます。今回の選挙でも開票を立会いました。民主党は泉佐野市で2万1千票を獲得しましたが、あれだけの逆風の中でも自民党は1万2千票のご支持をいただきました。これだけの支持をいただけたということは、まだ自民党は国民の方から完全に見放されたわけではないと感じています。きつと再起することはできます。

今回の選挙では自民党の松浪健四郎候補も議席を失いました。これからは自民党の代議士がない分、私のような自民党の地方議員がこの地域では一から出直して、より地域の発展のために頑張っていかなければならないと考えております。政治家はどれだけ長く政治家をしていても、どれだけ住民のために多く仕事をしてきたとしても「慢心せず常に謙虚につつましく、住民、国民の目線が必要である。」このことを心に刻んで一から出直してまいりますのでこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

早期健全化団体

早期健全化団体の適用を受けることになった泉佐野市が最

近さらに多く報道されることになって市民の方々から「泉佐野市は倒産してしまっただけなの？大丈夫？」といった問い合わせを受けるようになりました。地方自治体の倒産は北海道の夕張市だけであり、倒産した自治体は「財政再生団体」の適用を受けます。財政再生団体がレッドゾーンとしたならば、「早期健全化団体」はイエローゾーンの地方自治体と表現してもいいかもしれません。地方自治体の連結決算の導入によって連結収支と将来負担比率という2つの数値が早期健全化基準をオーバーすることになってしまい適用を受けることになったわけでありました。法律に基づいて泉佐野市は今後、財政健全化計画を国に提出いたします。この計画の素案が9月議会で私が委員である行財政委員会や本会議の一般質問で議論されました。

今回、泉佐野市が策定した財政健全化計画はまだ正式なものとなっておりませんが、「20年間で普通会計における2000人の職員削減」、「遊休地の処理、売却」、「使用料手数料の見直し」、「事務事業の見直し」、「業務の民間委託化」などが項目として入っております。この中で市民生活に直結するものは「使用料手数料の見直し」と「事務事業の見直し」であります。市民の生活はバブル崩壊後の失われた10年、そして日本を襲った100年に一度と言われております世界大不況の影響によりまして家計の可処分所得はかなり減っています。市民生活に直結するような項目は計画から削除し、その代わりに現在、議会で検討を進めている「議員定数の削減」、「議員報酬のカット」を項目として入れていくべきだというのが私が所属する自由民主党泉佐野市会議員団の主張であります。泉佐野市は財政を健全化するために公共料金を府下でも高い水準に値上げしてきました。もう限度でありませんが、12月ぐらいには正式な計画となりますが、この点を引き続き強くうたえてまいります。

業者の撤退により休止されていた中学校のスクールランチが10月

から泉佐野市内の各中学校におきまして順次再開されていきます。私は6月、9月議会と2回の議会に渡ってこの問題を取り上げて、ようやく再開を実現することができました。スクールランチは生徒全員が同じ給食を食べるのではなく、民間業者の献立表を見て必要な生徒が注文をし、「お弁当」が学校に注文された分だけ配送されるといった方式であります。これについては生徒の人数がなく泉佐野市では利用率は1%台でありました。こんな人気のないスクールランチをやめて食育の観点からも中学校の完全給食を実施してみてもどうかと平成17年9月議会、平成19年9月議会の2回に渡って本会議場で代表質問をし、また事あるごとに委員会でも質問をしてきました。私の本来の考え方は、「中学校における完全給食の実施」であり、中学生という大事な発育時に「食育」という観点からバランスのとれた給食を実施していくのが本来の姿であると思います。全国的には中学校の完全給食の実施率は70%を超える高い水準ではありますが、大阪府は数%の一ケタ台であります。

東京都の調布市の中学校給食の実施にかかった費用は、初期投資で約7億円、その後のランニングコストが毎年約2〜3億円だそうです。泉佐野市とはもちろん条件等が違いますが、人口規模が泉佐野市の倍近くある調布市でありますので給食にかかる経費が調布市を上回るとは考えられません。しかしながら現在の市長は財政が厳しい中、初期投資にかなりかかる中学校の完全給食を実施するよりもスクールランチを継続していくという方針であります。スクールランチの再開に際して実施したアンケートによりますと完全給食は中学生を子どもに持つ保護者のほとんどが希望していることであるということがわかりました。今回取りあえずはスクールランチの再開を実現することができましたが、私はこれからも粘り強く中学校完全給食の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

9月13日(日)に泉佐野市議会史上初めて「日曜議会」が開催されま

した。私が昨年5月に議長に就任したときから、「開かれた議会」をめざすための議会改革の一環として進めてまいりましたことがようやく実現いたしました。当日は平日の議会と比べてかなり多くの市民の方々が傍聴にいられました。通常、議会には市長をはじめ特別職、そして部長級が出席します。また隣の部屋には課長級以上の職員が待機をいたします。よって休日手当などが無い職員だけが出勤しますので日曜議会の開催には経費がかかります。次の12月議会では12月19日(土)、12月20日(日)の2日間を渡って「土日議会」を開催いたします。これを機会に多くの市民の方々に市議会でのような問題が取り上げられて、どのような議論がされているのか知っていただきたいと思います。是非とも一度傍聴に来てみてください。市役所の5階にいらしたらいたらお気軽に傍聴ができます。よろしくお願ひ申し上げます。

携帯用メールマガジンを開設しています！



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/>または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

DoCoMo/au/SoftBank

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々のテーマをお話します。後半は市民の方々との意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

第58回「かけはし」	10月22日(木)
第59回「かけはし」	11月19日(木)
第60回「かけはし」	12月24日(木)

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 時間 19:30~20:30

● 参加費 **無料**

千代松大耕 プロフィール



佐野中PTA懇親会にて

(議会)

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米國Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選
- 2003.5 市町村合併検討委員長
- 2004.5 第61代副議長
- 2005.5 厚生文教委員長
- 2006.5 監査委員
- 2007.5 行財政委員長
- 2008.5 第65代議長
- 2009.5 議会運営副委員長

(現在)

- (社) 泉佐野青年会議所 直前理事長
- (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
- 泉佐野市バレーボール連盟 会長
- 泉佐野市柔道連盟 理事
- 泉佐野市青少年指導員
- 泉佐野市交通指導員
- 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
- 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
- (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
- 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
- 同志社大学校友会泉州クラブ副代表
- 佐野中柔道部OB会 相談役
- 日本教育再生機構大阪 泉佐野支部長
- 看護を考える地方議員の会 副幹事長
- 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長
- 自由民主党大阪第19選挙区支部 青年部長

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設いたしました！

Izumisano未来日誌 検索

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています！
市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

千代松大耕

検索

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

連絡先：泉佐野市松原2-5-31 TEL 458-1708 FAX 469-0311
ホームページ：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール：chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 615,500部 第60号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。